

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表 集計結果

令和3年2月4日
はぴねす
管理者・児童発達支援管理責任者
吉沢 美穂

本集計結果は、施設利用児童の保護者を対象に配布した、「保護者等向け 放課後等デイサービス評価表」に基いた調査結果を集計したものである。

備考:

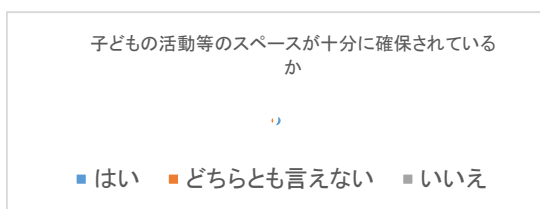
1. アンケートの配布日 令和3年1月4日(月)
2. アンケートの回収期間 令和3年1月4日(月)～令和3年1月31日(日)
※回収期間中に回答されたものを有効回答とする。
3. アンケート対象者 60名
4. 有効回答数 41名

～ アンケート集計結果 ～

【環境・体制整備】

①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか

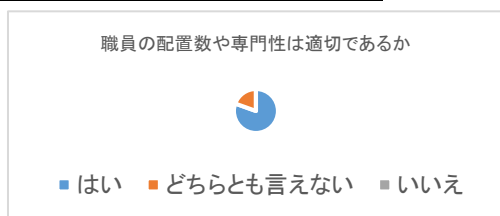
はい	どちらとも言えない	いいえ
24	14	3



ご意見(一部抜粋)
・広さ的に十分とは考えにくい。 ・体が大きくなってくると、室内だと少し狭いと思う。
改善目標・工夫している点
児童毎の活動時間を調整し、限られたスペースの中で療育効果が得られるよう提供メニューを考案していく。

②職員の配置数や専門性は適切であるか

はい	どちらとも言えない	いいえ
33	8	0

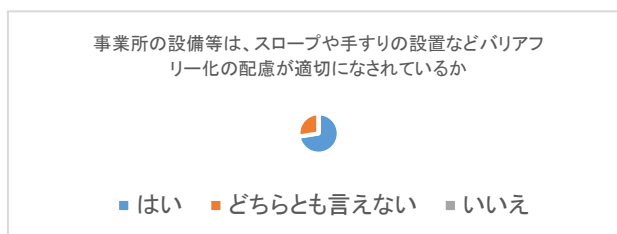


ご意見(一部抜粋)
・運動療法士や心理士がいてほしい。
改善目標・工夫している点
・公認心理士は配置している。 ・社内で研修を継続的に実施していき、発達心理学的視点、行動療法的視点、精神分析的視点などを学び続ける環境を整備していく。また、外部の研修にも積極的に参加していく。

③事業所の設備等について、バリアフリー化の配置が適切になされているか

はい	どちらとも言えない	いいえ
29	11	0

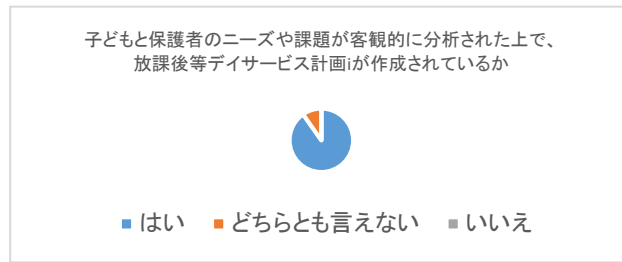
未回答1



【適切な支援の提供】

④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか

はい	どちらとも言えない	いいえ
37	4	0



⑤活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか

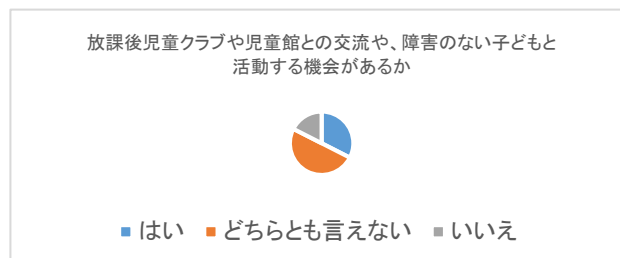
はい	どちらとも言えない	いいえ
35	6	0



⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

はい	どちらとも言えない	いいえ
13	20	7

未回答1

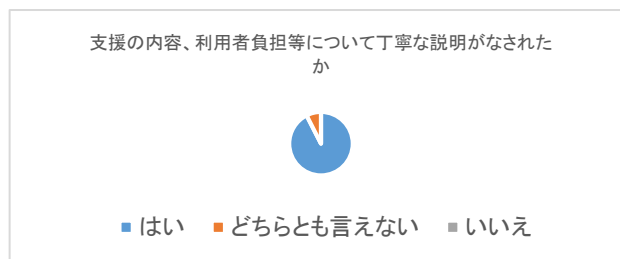


【保護者への説明等】

⑦支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか

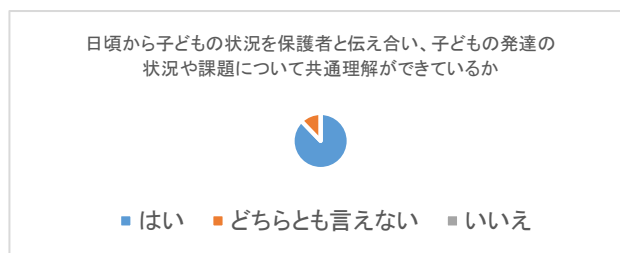
はい	どちらとも言えない	いいえ
37	3	0

未回答1



⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか

はい	どちらとも言えない	いいえ
36	5	0



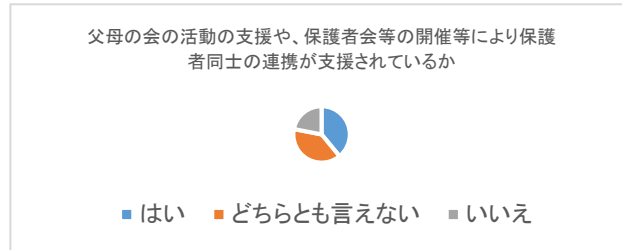
⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか

はい	どちらとも言えない	いいえ
37	4	0



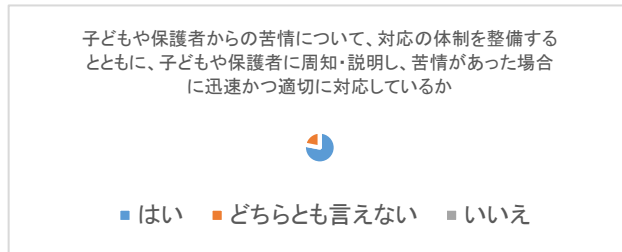
⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか

はい	どちらとも言えない	いいえ
16	16	9



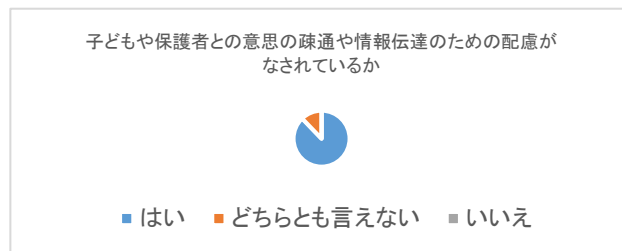
⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか

はい	どちらとも言えない	いいえ
32	9	0



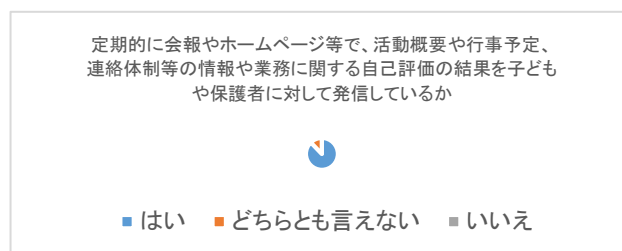
⑫子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか

はい	どちらとも言えない	いいえ
36	5	0



⑬定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか

はい	どちらとも言えない	いいえ
36	5	0



⑭個人情報に十分注意しているか

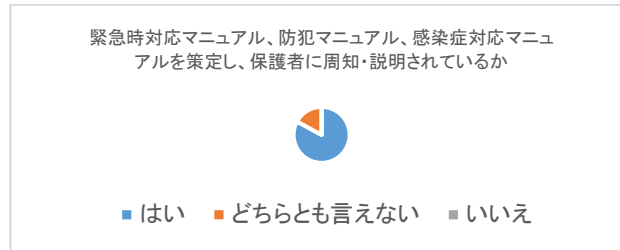
はい	どちらとも言えない	いいえ
38	3	0



【非常時などの対応】

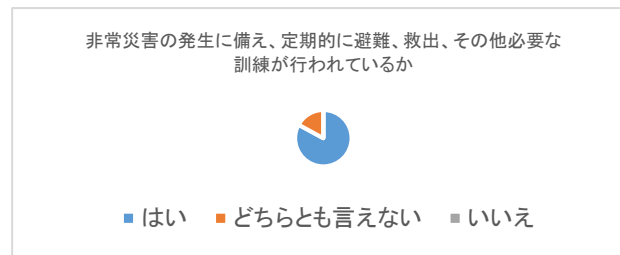
⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか

はい	どちらとも言えない	いいえ
34	7	0



⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか

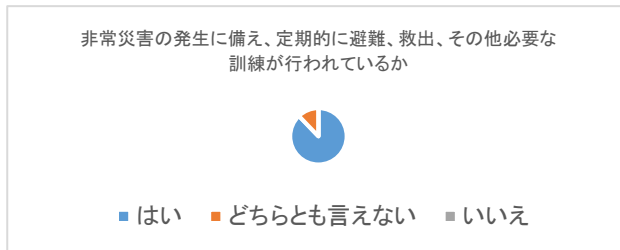
はい	どちらとも言えない	いいえ
34	7	0



【満足度】

⑰子どもは通所を楽しみにしているか

はい	どちらとも言えない	いいえ
36	5	0



⑱事業所の支援に満足しているか

はい	どちらとも言えない	いいえ
35	6	0



ご意見 ※一部抜粋

- ・活動プログラムについて、最近では室内活動や食べ物系(調理等)が多いように感じる。
- ・外で遊ぶ機会を増やして欲しい。
- ・今年は保護者会・児童館等との交流がなかったが、コロナウイルスによる状況の中で正しい判断だったと思う。
- ・イベント内容と優しい友人ができたことで本人も通所を大変楽しみにしている。
- ・リラックスして自分を出せる場だと思う。
- ・立地やサービスはいいが、発達支援という面では資格者をいれてほしい。アドバイス等がききたい。
- ・急なキャンセルをした際に普段の様子などを話してくださり嬉しかった。

総括(改善目標・工夫している点等)

【環境・体制整備】

- ①活動スペースは狭いという意見もあった。活動プログラムを調整し、限られたスペースの中で療育効果が得られるよう提供メニューを考案していく。
- ②職員の専門性という点では、社内で研修を継続的に実施していき、発達心理学的視点、行動療法的視点、精神分析的視点などを学び続ける環境を整備していく。また、資格者を配置していることを会報等で伝えて行く。
- ③バリアフリーに関しては、実社会生活において、必ずバリアフリーで生活できる環境が整っているとは言い切れないので、児童の特性に応じて、対処できるような支援方法を検討し支援していく。

【適切な支援の提供】

- ④客観的な分析方法として、S-M社会生活能力検査等を用いてアセスメントや支援計画を立案しているので、児童の特性を理解した上で、支援計画を立案していけるように努めていく。
- ⑤活動プログラムに関して、最近では室内での活動が多いという意見があった。今年はコロナウイルスの影響があり、外出イベントを企画しても直前で変更せざるを得ないことが多くあったが、感染者が減り落ち着いたら外出イベントや工場見学等も行っていく。

【保護者への説明等】

- ⑩保護者会に関しては、今年はコロナウイルス感染対策の観点から実施ができなかった。今後も続くのであれば、リモートでの実施も検討していく。また、これからも施設からの便り、WEBでの活動記録の公開など継続して施設からの情報を発信していけるよう努めていく。

【非常時などの対応】

- ⑮、⑯非常災害時などの対応について、保護者への十分な理解がなされていない結果が見受けられた。年2回の防災訓練を始め、施設からの便り、WEBでの活動記録の公開、保護者会などを通じて、保護者・児童・職員の理解が浸透するよう努めていく。

【満足度】

- ⑰、⑱子どもの興味関心を育み、職員や、他児童との絆形成、心の拠り所となれるよう努めていく。